

やはは

議会だよ

186
2013.10.16



笑顔の入場行進
(北高田保育園運動会)

決算審査特別委員会
平成24年度決算 一般会計 歳出 99億2839万円 … 2

議会で決めたこと
豪雨災害関連予算 10億5196万円を補正 …………… 11

一般質問 町政を問う
災害に強い矢巾を 一般質問10議員 …………… 14

議会からのお知らせ
より開かれた議会を目指して (視察研修報告) …………… 25

順調に進む区画整理事業

平成24年度決算

9月定例会は9月3日から9月20日までの会期で開催され、平成24年度の決算を中心に、条例案や補正予算、人事案件等を審議しました。

決算は、決算審査特別委員会を設置して審査され、本会議においてすべての会計で可決されました。

歳入

町の主要事業を行う一般会計決算の歳入は、前年度比9.4%減で約104億176万円となりました。

その内訳を前年度と比較すると、町税・自動車取得税交付金・県支出金などが増加し、

町税の徴収率は99%でした。一方依存財源の大きな割合を占める地方交付税・国庫支出金・町債などは減少し、財政調整基金からの繰入などによる補填が継続されました。



整備され利便性が増した 矢幅駅西口地区

一般会計 歳入 104億 176万円
歳出 99億 2839万円 の内訳

歳出

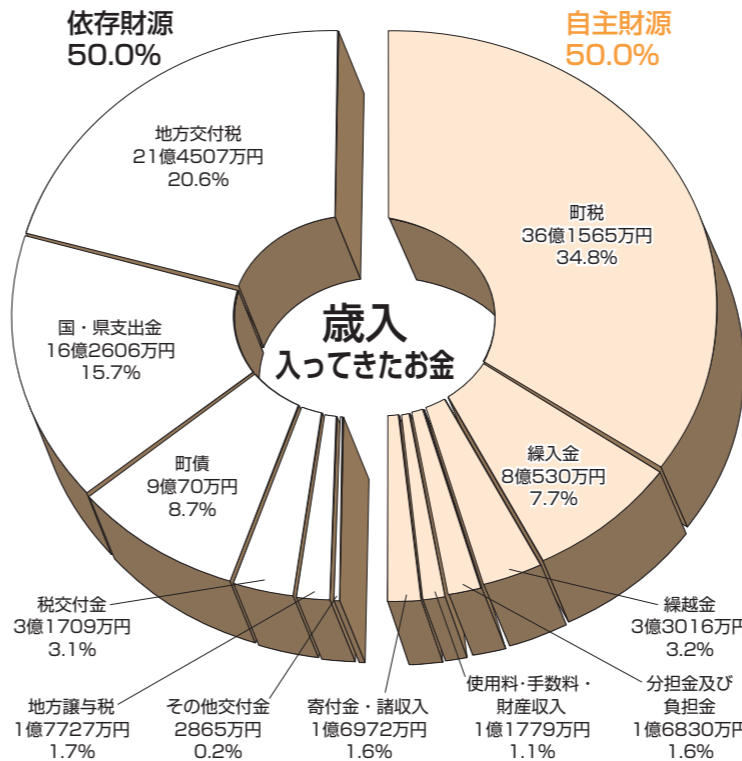
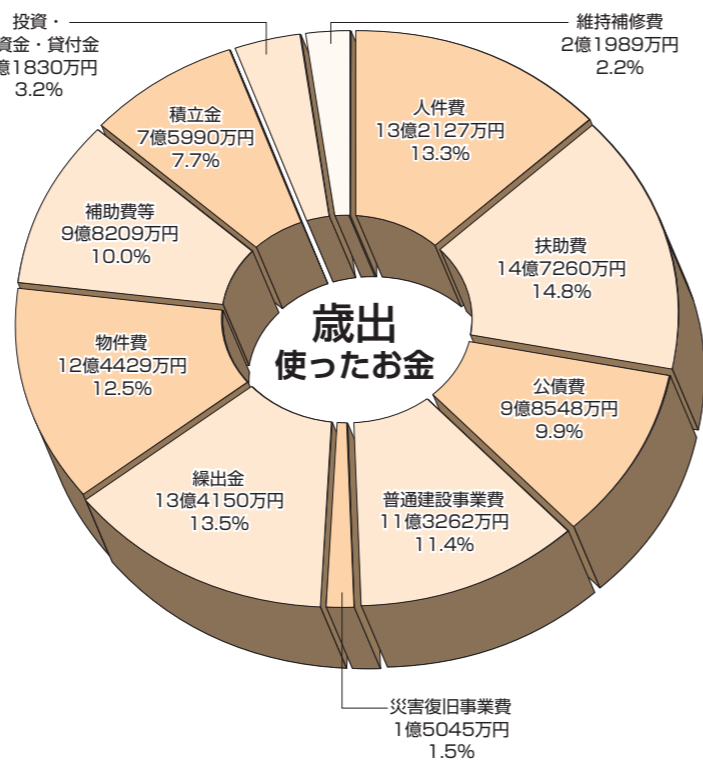
歳出は前年度比10.9%減で約99億2839万円となりました。

その内訳を前年度と比較すると、土木費・消防費・災害復旧費などが増加したものの、総務費・衛生費・教育費などは減少しました。

特に矢巾中学校建設事業の完了に伴う教育費の減少は大きく、約15億5503万円の

減となっています。一方土木費は、除雪事業や南昌トンネル線にかかる事業などで約1億9110万円の増となり、消防費は防災行政デジタル無線整備などで約1億1925万円の増となりました。

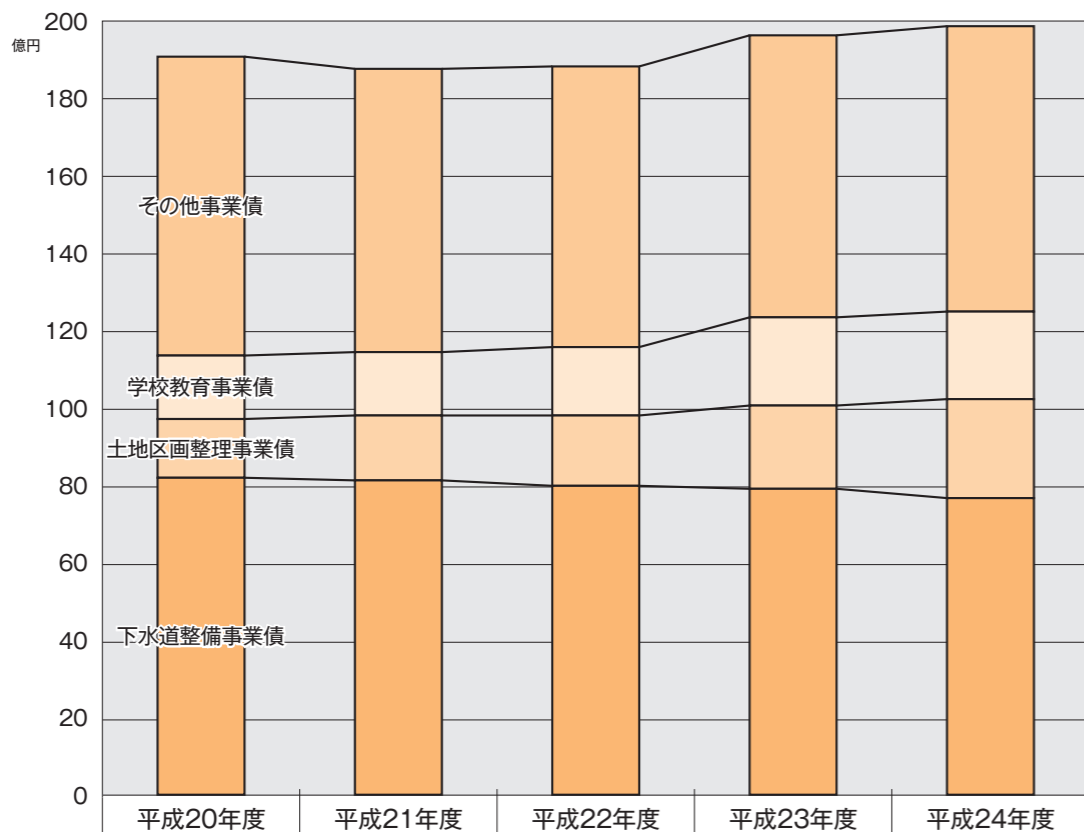
特別会計については、次ページをご覧ください。



財源区分	名称	解説
自主財源 (地方自治体が自らの権限で収入できる財源)	町税	地方自治体が直接徴収する税。個人・法人町民税、固定資産税、軽自動車税など
	繰入金	基金繰入金は預金等を取り崩すもの
	繰越金	前年度の残金
	分担金及び負担金	特定のサービスを受益する者から徴収するもの。保育所運営費負担金など
	使用料・手数料・財産収入	使用料、財産収入は町の財産から得られるもの。手数料は諸証明交付手数料など
依存財源 (国・県など他からの収入に依存する財源)	寄付金・諸収入	諸収入はほかに分類されないもの。延滞金や電気使用料など
	地方交付税	一定の基準で算定した支出より収入が少ない場合に国から交付されるもの
	国・県支出金	国や県からの補助金など
	町債	財務省や銀行などからの借入金
	税交付金	都道府県が徴収した税のうち、市町村に交付するもの
地方譲与税	国が徴収した税のうち、地方公共団体に譲与するもの	
その他交付金	国策による減収や特定の経費に充てるために国から交付されるもの	

町の借金の移り変わり

平成24年度町民1人あたりの借金残高74万3670円



項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
その他事業債	77億1281万円	73億981万円	72億4356万円	72億7763万円	73億6508万円
学校教育事業債	16億3805万円	16億3579万円	17億6483万円	22億7627万円	22億5947万円
土地区画整理事業債	15億1620万円	16億7509万円	18億1523万円	21億4881万円	25億5409万円
下水道整備事業債	81億7987万円	81億1210万円	79億7192万円	78億9512万円	76億5501万円
合計	190億4693万円	187億3279万円	187億9554万円	195億9783万円	198億3365万円

監査意見

平成24年度は、第6次矢巾町総合計画（後期基本計画）2年度目の計画に沿って事業が実施された。決算状況は、一般会計ほか6特別会計の実質収支が5億4782万円余と前年度比54.26万円余（9.0%）の減となったが、すべての会計において黒字であり、概ね健全な財政運営が確保された。税収の確保については、税制改正等や震災特需の増益企業がけん引し、町民税は増加となった。収納率は多くの税

目において微増しており、職員に敬意を表する。アベノミクスにより経済が活性化していることから、行政運営に関しては経済や国の動向を見極め、タイミングを逸しないよう効率的な運営を図りたい。水道事業は、有収率は減少し93.1%であるが、依然年間指標を大幅に上回っている。当期純利益は対前年度比48.96万円余増の1億3010万円余が計上され、財政状態も良好と認められた。

立花純幸委員
秋篠忠夫委員



決算審査中の委員

特別会計 1人あたりのかかったお金

国民健康保険事業特別会計

歳入 25億7836万円 前年度比 2.3%増
歳出 24億4482万円 前年度比 6.1%増
被保険者 1人あたり 41万8920円

介護保険事業特別会計

歳入 16億6384万円 前年度比 8.0%増
歳出 16億1921万円 前年度比 9.3%増
被保険者 1人あたり 29万181円

後期高齢者医療特別会計

歳入 1億5435万円 前年度比 5.4%増
歳出 1億5221万円 前年度比 5.8%増
被保険者 1人あたり 5万4438円

下水道事業特別会計

歳入 9億9056万円 前年度比 16.6%減
歳出 9億804万円 前年度比 20.2%減
利用者 1人あたり 4万6794円

農業集落排水事業特別会計

歳入 3億3073万円 前年度比 4.0%増
歳出 3億1472万円 前年度比 4.6%増
利用者 1人あたり 5万8607円

矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計

歳入 15億5944万円 前年度比 13.5%増
歳出 15億3354万円 前年度比 17.9%増
町民 1人あたり 5万7500円

※1人あたりの金額は、平成24年度末現在の人数から算出しました。

企業会計

水道事業会計

収益的収入及び支出
収入 6億2725万円 (給水収益等)
支出 4億8903万円 (維持管理費)

資本的収入及び支出
収入 3810万円 (工事負担金)
支出 3億3645万円 (企業債償還、工事費)



給水管の布設替え工事（南矢幅地区）

どづつ使われた みんなのお金

歳入

決算審査は、議長を除く17人の委員で構成された特別委員会（廣田光男委員長、苜生健勝副委員長）を設置して審議しました。

総務

藤原(由) 23基金の中でかなりの期間運用されていないものがあるが。

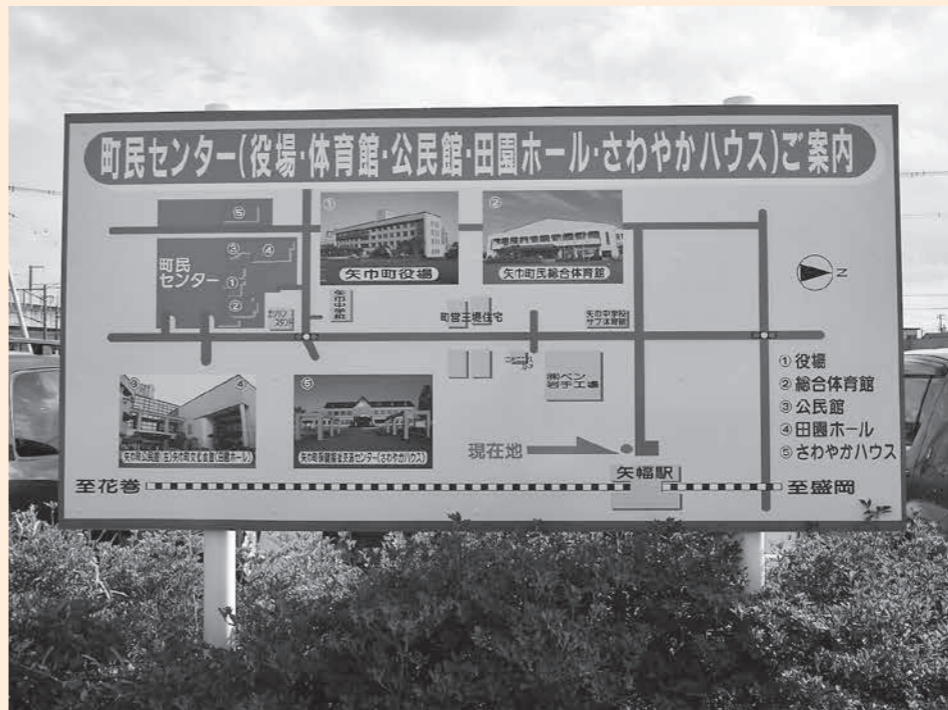
企画財政課長 それぞれ目的があつて設立したが、今後運用を検討していく。

藤原(梅) 固定資産税の不納欠損の内訳は。

税務課長 個人4名、法人8社である。

山崎 平川食品の過料等の回収見込みとその責任は。

上下水道課長 できるだけ有利な形で回収に努める。責任は痛感しているが、1円でも多く回収することが責任と考えている。



町内施設の案内看板（矢幅駅西口）

齊藤 町職員の自主研修グループの成果を反映させる考えはないか。

総務課長 現在2グループあり、暖房費を節約し町の活性化につなげるウォーム・シェアなどの成果を上げている。

村松(信) 防災を見直す計画はどのようになっていくか。

総務課長 東日本大震災を受けて、原子力の教育や情報発信、避難指示等について計画を修正している。

小川 町ホームページで入札の公開など、情報公開をすべきでは。

総務課長 これから内部関係

機関と話をし情報公開に努めたい。

藤原(梅) 町内の案内看板が乏しく、不親切との声が聞かれるが、数を増やし併せて外国語表示も必要では。

道路都市課長 関係課と協議し、設置場所など検討していきたい。

川村(よ) さわやか号の利用者が24年度約1000人減ったが、200円の料金を引き下げるべきでは。

企画財政課長 今年8月までは利用者が増えてきており、200円の料金は妥当と捉えている。

産業・建設

米倉 ウエストヒルズ広宮沢への企業誘致の状況は。

商工観光課長 岩手日報社へ1万6822平方メートル契約済、岩手三菱ふそうと9月末に契約予定で77%の販売となる。

苜生 マレットゴルフ場は被害が甚大なので、違う場所に移転する考えはないか。

商工観光課長 水辺の里を含め、補助事業・災害事業などを併せて検討する。

藤原(由) 今後の米政策はどのように進め、営農組合の法人化と個人担い手の関係は。

農林課長 ブランド品のPRと、6次産業化の推進に力を入れ販売強化に努める。法人化は、決定権が集中されるなど経営的に有利面が多く、個人担い手とは役割分担を明確にする。

小川 河川の中州除去事業は、豪雨災害対策でも重要であると考えるが、効果は。

道路都市課長 中州除去を行った逆堰などで、豪雨後の土砂の堆積は無かった。今後継続していく。

村松(信) 農地・水・環境事業で今回の豪雨災害での復旧は行えるか。

農林課長 基本的には災害復旧で行う事業であるが、40万円以下であれば早期復旧するために農地・水・環境の事業で行うことが可能である。

藤原(梅) 食糧自給率を堅持し、町食材を町民に知ってもらうための施策は。



キャベツ栽培に取り組む営農組合（上矢次地区）

農林課長 JAと連携をとっており、現状の組織の中で成果を上げていきたい。農業対策会議は4つあり、

それぞれが独立した取り組みを行っている。今後も5つの産直を支援していく。



壊滅的被害を受けた水辺の里

町の家計簿 厳しくチエック

福祉・環境

等に8基設置したが、今年度も同程度の計画である。

高橋 ケアセンター南昌への助成金の返済年数と金利は。

企画財政課長 返済年数は10年である。金利負担はなしで、新規雇用の条件がある。

齊藤 重度障がい者で、18歳になると利用できる町内施設が少ないようだが見通しは。

生きがい推進課長 確かに町内障がい者施設は少ないが、今後進出してくる業者もあることから、町外も含め増える予想である。

小川 通学路など街路灯の設置はどの程度進んでいるのか。

道路都市課長 24年度は白沢、北郡山、赤林、矢次地区

昆 配食サービスを、高齢者だけでなく障がい者にも広げられないか。

生きがい推進課長 必要性について調査し、検討する。

村松(信) 新川・大白沢川に絶滅危惧種に指定されている「ギバチ」が生育しているの、看板などの設置を考へては。

住民課長 今後調査し、検討する。

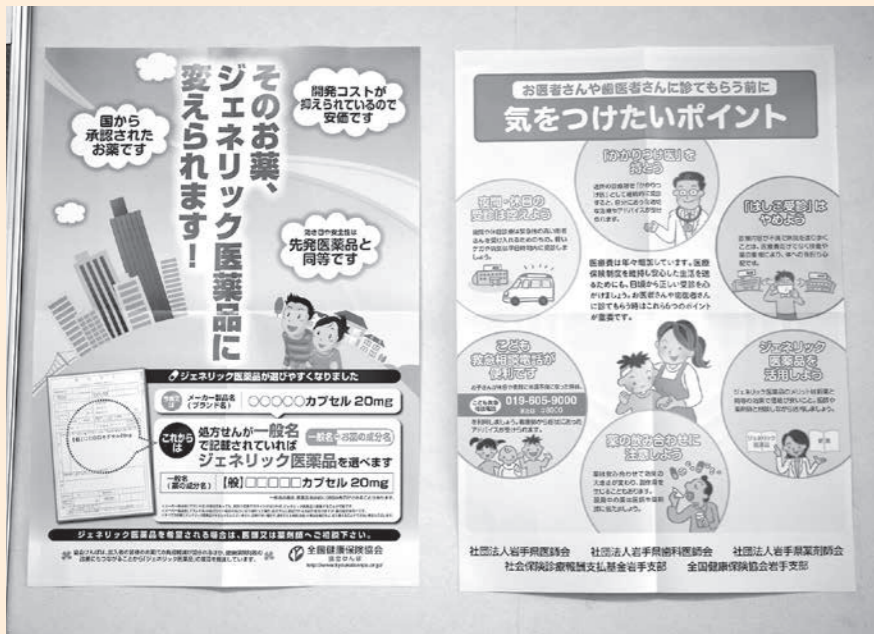
川村(よ) 保育料軽減率が周辺市町村に比較し低いのでは。

住民課長 軽減率は31・6%で、額にして約6900万円を軽減しており、盛岡市と同程度の軽減率となっている。

特別会計

山崎 年間の医療費1人あたりの全国平均が、30万円を超えたと報道されたが、本町の実態は。また医療費の抑制に有効とされているジェネリック医薬品の使用率は。

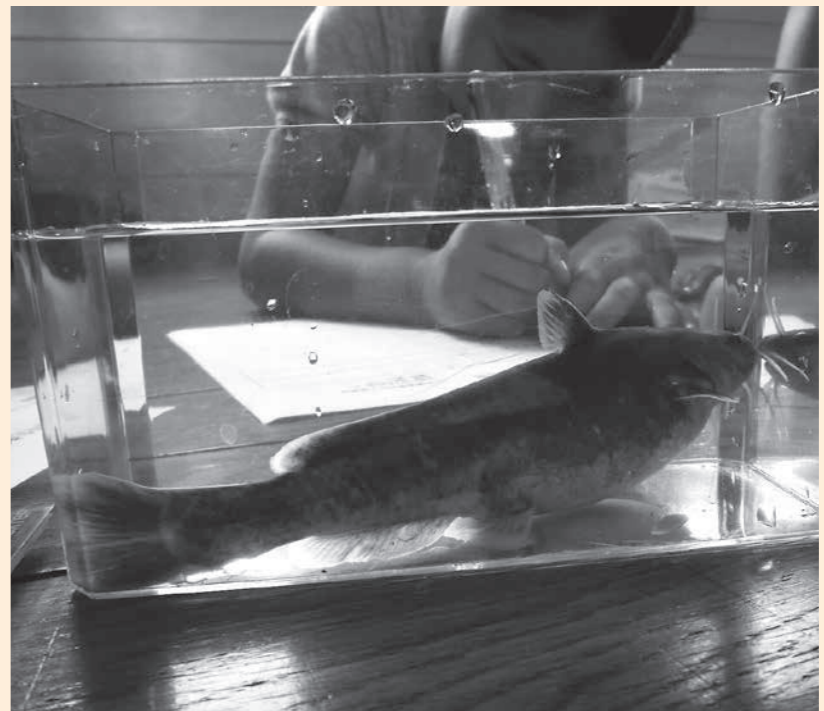
住民課長 本町1人あたりの医療費は、34万1287円で対前年度比3・9%増となっている。ジェネリック医薬品の使用率は数量ベースで34%、金額ベースで12・3%となっているが、さらに高める努力をしていきたい。



ジェネリック医薬品推進ポスター

教育・文化

藤原(由) 学校給食の町内産食材の使用率が56・6%と高



ナマスの一種である絶滅危惧種のギバチ

くなっているが、燃料費や食材が値上げされてきており、給食費への影響はないか。

学務課長 食材について県内

産を合わせると69・9%となっており、できる限り給食費の範囲内でやりくりをしたいと考えている。

小川 学校施設を破損した場合、生徒が弁償するシステムは教育的配慮に欠けていると思われるが、改善する考えは。

教育長 故意か過失かにもよるが、現状は弁償しているところが多いように思う。学校によっては半額のところもあるようなので、人を育てる観点からも配慮することを検討していきたい。

齊藤 国道東側の徳丹城跡地の未整備が多く、史跡とわかるようにしては。

社会教育課長 草刈は従来どおり行い、簡易な看板は考えていく。

昆 今後、要支援者が介護保険から外れた場合の対応は。

生きがい推進課長 まだ国からの詳細がわからない状態であるが、要支援者の対応については現状で継続できるようにしていきたいと考えている。

小川 駅前開発について、豪雨被害を受けて土地のかさ上げ等の見直しが必要ではないか。また複合施設の見直しは。

区画整理課長 問題点をもう一度チェックし直す。複合施設は必要であり、図書館の移転も考えている。

水道・下水道

米倉 西部の新たな井戸のボーリングの状況は。

上下水道課長 水は出たが水量が足りなかったため、別な場所を試掘する。

小川 8・9の大雨で、西徳



仮復旧中の給水管 (矢次地区)

田地域で下水がマンホールから溢れたが対策は。

上下水道課長 汚水管をもう1本布設する計画であり、用地買収の段階である。

上下水道課長 人員に余裕がなく、町外に技術を売ることが困難である。

山崎 今回の災害での給水管の復旧の見通しは。

藤原(梅) 当町の高い水道技術を周辺に広め、収益につなげたらどうか。

上下水道課長 給水管は今年度中を目途としているが、西部浄水場系高区配水塔は復旧方法を検討中である。

審査報告

決算審査特別委員会委員長 廣田 光男

災害に強い町づくりを期待

平成24年度一般会計の歳入は、地方交付税の減や町債発行の減により、対前年度比約10億7500万円減の約104億100万円となった。

歳入は矢巾中学校移転改築事業が終了したことや財政調整基金の取り崩しがなかったこと等により、約12億1900万円減の約99億2800万円となった。

子ども手当や児童手当の支給と併せこずかた保育園の創設などにより、一層の子育て環境の整備が促進されたことは、今後本町の人材育成に果たす役割が大きく、評価する。災害に強い町づくりに取り組むため、防災行政無線設備の整備事業に取り組んだことは、今後の防災対策を効果的に展開する上で大変重要なこ

とである。

8月9日に発生した大雨大災害による被害に対して早期復旧対策に取り組むため、費用対効果の検証を求める。

一日も早い災害に強い抜本的防災対策を展開されるよう今後の対策に大いに期待する。



議長に審査報告書を提出する正・副委員長

豪雨災害関連予算 10億5196万円を補正

臨時会・9月定例会

補正予算

補正予算は、一般会計、4特別会計、水道・下水道事業会計で計上され、一般会計は大震災復旧にかかる予算等、約13億7627万円を追加し、約102億9920万円となりました。

主な歳入

▽災害復旧債
4億1460万円

▽公共土木施設災害復旧費負担金
2億8097万円

▽子育て支援対策臨時特例事業費補助金
1203万円

主な歳出

▽道路橋りょう災害復旧事業
4億5095万円

▽煙山ダム土砂撤去
2億7654万円

▽水害被災者見舞金
1560万円

▽保育士等処遇改善臨時特例事業
1203万円

条例

子ども・子育て
会議条例を制定

質の高い乳幼児期の教育・保育の総合的な提供および地域の子育て支援の充実を図るため、計画の策定等に関する会議を設置し、組織や運営に関する必要な事項を定める子ども・子育て会議条例が新たに制定されました。

人事案件

人権擁護委員

平成20年から2期務めている松館征雄さんの推薦に同意しました。



まつだて ゆくお
松館 征雄さん(再)
(藤沢)

固定資産評価審査委員

平成7年から6期務めている小笠原孝夫さんの選任に同意しました。



おがさわら たかお
小笠原 孝夫さん(再)
(下赤林)

財産取得

購入から23年を経過した、第2分団第7部の消防ポンプ自動車を更新します。
1806万円



岩崎川の土砂除去

不断の努力で健全財政運営

矢幅駅周辺土地区画整理事業や、下水道整備事業などが、計画に沿って進められた。特定健診・ヘルスアップ事業等は、町民の健康増進に大きな効果が表れている。一般会計・特別会計・水道事業会計の全てが黒字であり、健全な財政運営がなされたものと認め賛成する。

米倉 清志

賛成

大雨災害復旧の実現を確信

全ての会計がプラスであることは、財政運営に鋭意努力されたことと評価する。しかし、黒字が自治体会計の本来の理となるのかを、問いただすことを忘れてはならない。大雨災害を目的の当たり前にして、予防・防災施策の推進に、議会としての責任も重く受け止め、復旧事業の早期実現を確信し賛成する。

川村 農夫

高すぎる国保税の引き下げを

町民が安心して受診できるためには、県下一高い国保税を引き下げる必要があり、法定外繰り入れをするべきだ。子どもの医療費無料化は他市町村に比べ遅れている。高齢になっても元気で暮らすために、町内循環バスを無料にして買い物等の外出を増やす施策を進めるべきだ。

川村 よし子

反対

複合施設より水害復旧を

30数億円がつき込まれる複合施設は駅前開発から切り離し、町民ニーズの検証が必要である。今はむしろ水害復旧予算の確保が重要だ。旧矢巾中跡地は町民アンケートの実施要望が拒否されてきた。児童手当、年金の全額差し押さえはすべきではない。

小川 文字

各議案の採決状況

平成25年第4回臨時会（8月）

議案番号	提出議案名	議員名														採決結果			
		齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子		米倉清志	高橋七郎	長谷川和男
議案44号	平成25年度矢巾町一般会計補正予算（第3号）の専決処分に関する承認	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案7号	災害対策調査特別委員会の設置	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

平成25年第3回定例会（9月）

諮問2号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案45号	矢巾町固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案46号	盛岡地区広域消防組合規約の一部変更の協議に関する議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案47号	矢巾町子ども・子育て会議条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案48号	矢巾町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案49号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案50号	矢巾町町税外歳入督促手数料等徴収条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案51号	矢巾町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案52号	矢巾町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案53号	平成25年度矢巾町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案54号	平成25年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案55号	平成25年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案56号	平成25年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案57号	平成25年度矢巾町矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案58号	平成25年度矢巾町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案59号	平成25年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案60号	平成24年度矢巾町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案61号	平成24年度矢巾町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案62号	平成24年度矢巾町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案63号	平成24年度矢巾町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案64号	平成24年度矢巾町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案65号	平成24年度矢巾町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案66号	平成24年度矢巾町矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案67号	平成24年度矢巾町水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案68号	平成24年度矢巾町水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案69号	岩手県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少の協議に関する議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案70号	財産の取得に関する議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案71号	平成25年度矢巾町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案72号	平成25年度矢巾町水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案73号	平成25年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○=原案に賛成 ●=原案に反対 棄=棄権 欠=欠席

注：藤原議長は採決に加わらない。

8・9大雨災害 早期復旧を



災害対策調査特別委員会を設置

8月9日の記録的大雨により、本町でも甚大な被害を受けました。また同時に、世界各地で突発的な異常気象によるさまざまな災害が発生しています。

今後住民の安全な生活環境を確保するため、議会としても今回の被害を十分検証した上で、今後の豪雨による災害の危険箇所を掌握するとともに、その対応策を検討し、提

言していく必要があるとして、平成25年第4回臨時会（8月21日）において、議長を除く17人の委員で構成された災害対策調査特別委員会（長谷川和男委員長、米倉清志副委員長）を設置しました。

《調査事項》
○8月9日大雨による災害状況に関する調査
○災害対策に関する調査



被害調査中の委員（水辺の里）



流木除去中の下海老沼橋（新田1区）

公共土木・農林関係被害総額
23億4866万円（9月24日現在）



谷上 哲 議員

住民参加型行政の推進を 広く住民の意見を反映する

質問 今後新たな取り組みは。

町長 第6次矢中町総合計画の策定にあたり、住民アンケート調査を実施したほか、公募を含む一般住民の参加をいただき、広く住民の意見を当該計画に反映させている。

質問 本町の住民参加に関するこれまでの取り組みは。

町長 地方分権の推進や、多様な住民ニーズに対応するため、行政主導による取り組みに固持することなく、住民との協働による町づくりを進めていくことが重要と認識している。

質問 住民参加の町政運営についてどう考えるか。

ズバリ 町政を問う



一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。9月定例会では10人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

一般質問 町政を問う

町長 さまざまな機会を通じて、広く住民の意見を事業の構想や計画策定に反映できるように努めるほか、政策案を事前に公表し、住民に広く意見を求めるなど、透明性の高い行政運営に努めていく。



活発な意見が交わされた地域懇談会（高田2区）

**子育て等支援は
駅前複合施設の
中で取り組む**

質問 子育て中の家庭、高齢者介護や障がい者介護をしてい

質問 この事業についての今後の取り組みは。

町長 現在進めている矢幅駅周辺土地地区画整理事業において、矢幅駅前地区複合施設の建設を計画し、その中で子育て世代活動支援センターの委託運営を予定している。

質問 県内主要市町村の取り組みは。

町長 盛岡市・釜石市・宮古市・一関市・大船渡市・奥州市・花巻市・北上市・滝沢市の8市1村でファミリーサポートセンターを設置している。

町長 本町では同事業は行っていないが、子育て中の保護者・高齢者・障がい者に対して必要な支援に取り組んでいる。

● 谷上 哲 議員……P13

- ①ファミリーサポートセンター事業
- ②住民参加型行政の推進

● 米倉 清志 議員……P15

- ①集中豪雨による被害対策
- ②災害時要援護者支援

● 川村 よし子 議員……P17

- ①矢幅駅周辺土地地区画整理事業地内の水害対策
- ②学校給食と内部被曝

● 川村 農夫 議員……P19

- ①8・9大雨洪水対策
- ②協働の道づくり
- ③矢中町周縁部の振興策

● 昆 秀一 議員……P21

- ①障がい者等への支援の充実
- ②ボランティア体制の強化
- ③教育委員会のあり方

● 村松 信一 議員……P14

- ①平成24年度施政方針内容の進捗状況

● 高橋 七郎 議員……P16

- ①災害発生時の情報収集及び発信
- ②矢幅駅前地区土地地区画整理事業

● 山崎 道夫 議員……P18

- ①8月9日の大雨被害の対応
- ②小中学校の教師による体罰

● 小川 文子 議員……P20

- ①8月9日の大雨・洪水対策
- ②矢中中学校跡地

● 藤原 梅昭 議員……P22

- ①豪雨災害での対応状況
- ②東日本大震災以降の本町対応状況
- ③農業振興

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。

一般質問 町政を問う



よねくら きよし 議員
米倉 清志

豪雨災害の対応策は 当日から消毒を開始



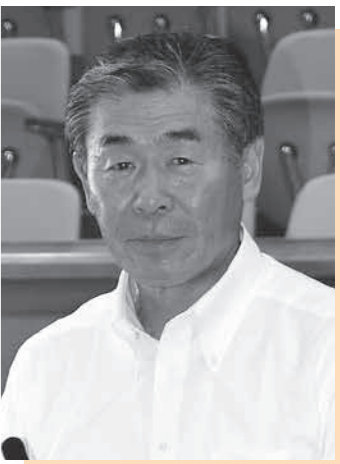
災害当日から対応した消毒作業

質問 8月9日の集中豪雨は、5時間で272mmを記録し大災害になった。町内の被害は甚大であることから以下問う。
浸水の激しかった地域の防疫はどのような対策を講じているのか。

町長 5宮農組織に対し、播種機3台などの導入補助を実施
質問 小麦や大豆栽培を行う集落営農組織に対する、機械更新支援の内容および対象外である他の農業機械の支援要望はないか。
町長 スマートインターチェンジ上り線側に接続する県道は、既に歩道が設置されている。下り線側の町道堤川目線および家庭線は、歩道整備することとしており、29年度供用開始を予定している。
町長 平成24年度施政方針内容の進捗状況を以下問う。
矢巾スマートインターチェンジ予定地から岩手医科大学までの周辺道路整備と、交通安全対策を念頭とした構想は。

町長 集中豪雨の当日午後から消毒を行い、消防団にも動員要請した所もある。
消毒の実施状況は、8月25日現在で、床下浸水延べ404件、床上浸水延べ80件を訪問し消毒と指導を行った。
質問 避難所の体制はどうなっているか。
町長 避難者数の多かった所には保健師を派遣し、他の避難所でも安心できるように対応した。
質問 激甚災害の見通しは。
町長 農地などの復旧は激甚災害の指定を受けたが、局地激甚災害指定は見通せない。

町長 水道料金は、9・10月は前年同月と比べ超えた分を減免とする。所得税・国保税は軽減の制度がある。
質問 水道料金・所得税・国保税などの減免はどうか。
町長 今年2～7月まで、136世帯の159人が登録を済ませている。
質問 現在の台帳の登録状況はどうか。
町長 該当者に対して個別に郵送で登録の案内通知を送付し、台帳登録の受付を開始している。
質問 被災した児童・生徒に対する支援は。
教育委員長 教科書は無償給付、文房具等も支援した。
要援護者台帳の登録は現在159人が登録
質問 災害対策基本法で支援を必要としている人の名簿作りの取り組みは。
町長 該当者に対して個別に郵送で登録の案内通知を送付し、台帳登録の受付を開始している。



むらまつ のぶかつ 議員
村松 信一

自主防災組織結成の現状は 41行政区中23組織で結成



ボランティアと協働で復旧作業にあたる矢次防災会メンバー

施。その他の要望には国、県の補助事業を紹介し事務支援を行っている。
質問 野菜栽培に取り組み組織への助成と事業効果は。
町長 野菜生産の経費に対する補助を4宮農組織に行っており、所得向上に向けた意欲の喚起に寄与している。

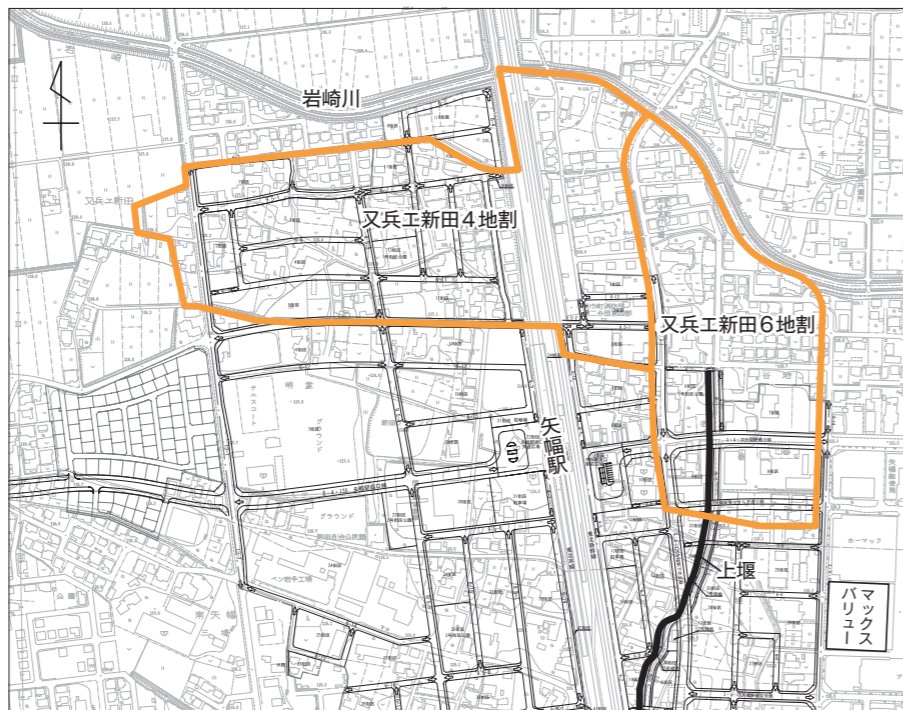
質問 新たな6次産業化の取り組みに対する支援内容および事業効果は。
町長 「ゆくたがりの夕べ」の開催を通じて、特産品の普及活動、町産食材を活用した創作料理考案に向けた支援などに取り組んでいる。
質問 自主防災組織の未結成地域の理由と課題は。
町長 9月1日現在で41行政区中23組織が結成されており、56・1%となっている。未結成の要因は平常時の活動や訓練の方法、災害時の実際の活動方法がよくわからないなどが課題と捉えている。

町長 受診率は51・7%で前年度と同率。県平均の40・9%を大きく上回り、県内では上位であるものの目標値である80%を達成できなかった。今後の健診体制について見直しを図りつつ、目標値達成に努めていく。
質問 特定健康診査、特定保健指導について、前年度と比べ達成率をどう評価するか。
町長 9月1日現在で41行政区中23組織が結成されており、56・1%となっている。未結成の要因は平常時の活動や訓練の方法、災害時の実際の活動方法がよくわからないなどが課題と捉えている。



かわむら 川村 よし子 議員

どうする矢幅駅周辺水害対策 排水路の整備を着実に進める



被害を受けた矢幅駅周辺図

町長 岩崎川の氾濫による被害が大きくなり、それ以外で被害が生じた箇所は、雨水排水

質問 矢幅駅周辺土地区画整理事業地内の水害対策を問う。東北本線を挟んだ又兵工新田4地割の検証および改善は。

町長 岩崎川の氾濫による被害が大きくなり、それ以外で被害が生じた箇所は、雨水排水

質問 駅前複合施設や駐車場等の見直しが必要ではないか。

町長 強い雨や、長時間降雨の場合、地下水位の上昇に伴い、地下室が浸水する状況であり、矢幅駅前地区土地区画整理事業により、雨水排水対策を施工することを建物所有者に提案している。

質問 又兵工新田6地割の飲食店水害を改善する方向性は。

町長 上堰および東北本線からマックスバリュウ裏の雨水排水路に、接続している水路の越流が原因であり、上堰に幅2.2メートル高さ1.2メートルのボックスカルバートを整備する。

質問 マックスバリュウ裏付近の洪水経過と対策は。

施設が未整備であった箇所であり、区画整備事業を着実に進める必要がある。

町長 今後の町づくりに必要な施設であり、今回の水害に

質問 盛岡・紫波地区環境施設組合最終処分場の土壌の放射能測定結果を公表できないか。

町長 放射性物質濃度測定を給食一食分について毎食実施し、その測定結果を公表している。

質問 給食に使う矢中町特産の米・キノコ・リンゴ等の単独放射線量を公表し、安全性をアピールしては。

最終処分場の放射能測定は 焼却後の集じん灰を測定し公表

伴う見直しは必要ないと考えている。

災害予想と被害情報の収集は 気象庁などから収集

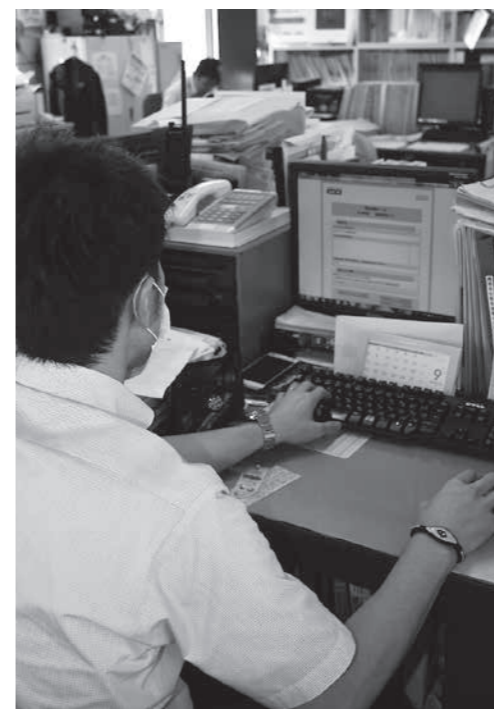


たかはし 高橋 しちろう 議員

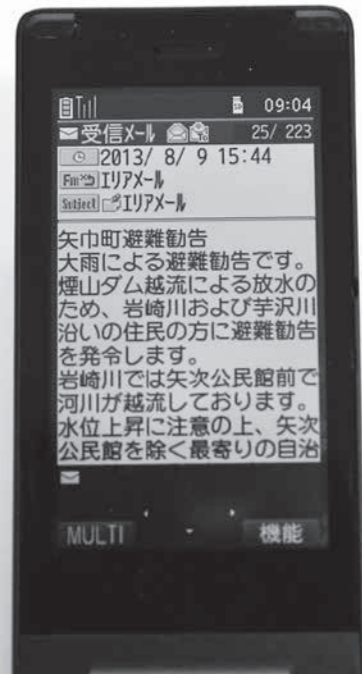
質問 災害時にリアルタイムに入ってくる現場情報や気象情報、避難の種類と避難場所、被害状況などをホームページで随時更新しているか。

町長 気象庁の警報発表および岩手県の土砂災害警戒情報システムにより、今後予想される雨雲の動きや、1時間あたりの雨量予想、国土交通省岩手河川国道事務所からの北上川氾濫情報などを参考にしている。

質問 災害予想・被害の情報はどこからか。



緊急速報メール配信作業



携帯電話によるメール受信

町長 ホームページの新着情報コーナーに情報の内容を見極めながら掲載しているが、今回は3回しか更新できていないので今後の課題である。

質問 緊急速報メールの配信手順と、学校や企業等への情報発信の状況は。

町長 契約している携帯電話会社3社の回線向けに情報を配信しており、今回初めて実際に使用した。

町長 国からの予算も計画通り確保され施工中である。建築資材・人件費の高騰は経費の節減等図り進めている。

質問 複合施設整備費、施設の規模内容に変更はないか。

町長 中心市街地の交流拠点としての効果を高めるため、公民館の図書室移転も含め建設費・運営費・事業費について検討中である。

質問 駅前区画整理事業の建設資材・人件費高騰による影響はないか。

区画整理事業の 変更はないか 経費節減で対応

各学校には、防災行政無線を配備しているが、企業等ではホームページと緊急速報メールで対応していただきたい。



かわむら あきお 川村 農夫 議員

協働の道づくりアフターケアは 大規模な破損には町で対応



協働の道づくり（太田地区）

質問 協働の道づくり事業は、矢巾スタンダードの・住民の・住民の手による・住民のための道づくり・それを支援する行政という、誇るべき事業制度である。
舗装されると利用車両が増えることから、新しいアスファ

町長 市街化区域と市街化調整区域との格差を感じること

周縁農村部の 振興策は 高度医療拠点を活かし 新たな視点で検討

質問 岩手医大中心で開発を重ねる視点と、古くから農村部に息づく魅力が実感できなくなるという二分化がある。
高度医療拠点を活かしたメ

ディカルツーリズムなど、新たな視点を取り入れ、周縁農村部も含めた振興策を打ち出してはどうか。

ルトによる補修工事が必要となるが、町の対応は。
町長 道路パトロールにより、破損部分には対応するが、大規模な面積で破損が生じた場合は、年次計画にてオーバレイや一部舗装新設等の対応をしていく。

も理解している。
無秩序な開発を防ぎながら計画的な土地利用を図り、農業を主体とした振興に取り組んでいく。
提案のメディカルツーリズムは、医大の先生方からも話があり、新たな視点として検討し、次期計画にも盛り込んでいきたい。

※メディカルツーリズムとは
居住地とは異なる国や地域を訪ねて医療サービスを受けることである。高度医療機関に、世界中から診断・治療に訪れ、長期に滞在する人が増えている。家族連れが多く、観光ホームステイなど、その受け入れが求められている。

崩落した橋の復旧見通しは 県の指導で十分検討し対応



崩落した岩崎川橋（矢次地区）

質問 8月9日豪雨災害の被害状況と被害額は。

町長 床上浸水102世帯、床下浸水355世帯で、落橋3箇所、そのほか道路崩壊等の土木関係の被害をはじめ、田畑への土砂流入や水稻の冠

水など、被害額は22億2000万円となっているが、今後もあるものと思われる。

質問 崩落した橋の復旧見通しは。また、流れを阻害している橋は取り壊すべきではないか。

町長 地域住民の意向や交通の動態などを勘案し、県などの指導のもと十分検討し、対応していく。

質問 岩崎川の河川改修について、矢次公民館付近までの計画となっているが、災害を防ぐためには煙山ダムまで延長し、一日も早く工事を進めるよう県に強力に働きかけてもらいたい。

町長 上流部分までの改修が必要という思いを強くしている。今後、県や関係機関に強く働きかけていく。

質問 床上浸水等の大きな被害を受けた世帯への支援策は。

町長 支援制度を検討しているところである。
**言葉の暴力で
生徒に大きな傷
生徒と保護者に
深く謝罪**
質問 矢巾北中の生徒が部室の鍵の紛失について無実にもかかわらず、担任教師から言葉の暴力を再三にわたり受け、心に大きな傷を負い、教師と学校に不信感を抱かせた。
教育委員会と校長の管理責任、さらには当該教師の処分について問う。
教育委員長 生徒と保護者に対して教育委員会として深くお詫び申し上げる。当該教師から生徒と保護者に直接謝罪し、校長が学校生活を安心して送れるよう約束している。
当該教師に対しては、県教委と協議しながら処分を決めていく。



やまざき みちお 山崎 道夫 議員



こん しゅういち 昆 秀一 議員

障がい者等への支援充実策は 国の動向とニーズにより充実



指定相談支援事業所しんせいの相談員

質問 本年4月から「障害者総合支援法」が施行されたが、その中で地域生活支援事業の地域活動支援センターに対して、本町の実情に合わせた施設をどう考えているか。

町長 地域活動支援センター



おがわ ふみこ 小川 文子 議員

龍澤学館の構想にピリオドを もう少し時間をかけたい



多くの町民が参加した夏期巡回ラジオ体操（旧矢中グラウンド）

質問 旧矢中グラウンドでの夏期巡回ラジオ体操は盛況であったが、今後の町づくりの重要な拠点にするべきでは。

町長 校舎跡地は龍澤学館から専門学校開設の申し出があり、議会で協議をいただいで

いる。グラウンドは体力増進と町民の憩う場として活用していく。

質問 専門学校の開設について、教員確保などの条件が整えば盛岡市内での開設を考えているとの説明を受けながら、議会への報告が2カ月も遅れたのはなぜか。

町長 大きな変化があったとは捉えていなかった。

質問 校舎解体が進む中、龍澤学館の将来構想にはピリオドを打ち、町民のための施策を考えてはどうか。

町長 もう少し時間をかけて考えてみたい。

治水を 最重要課題に 河川改修を進める

質問 安全な町を作る上で、

治水を最重要課題と位置付けてはどうか。

町長 本町の町づくりを考えた上で治水対策等が最重要課題であり、一級河川岩崎川ほか県管理河川は早期改修を強く要望し、町管理河川も改修等計画を立案し、災害に強い町づくりを目指す。

質問 降雨量と煙山ダム放水量のシミュレーションは行っているのか。今回越流が12時間に及んだが、放流はなされたのか。

町長 毎年ダム管理演習を実施し、同シミュレーション等行っている。放流していたが、下海老沼橋の越流回避のため中止した。その後ダムから越流が始まった。

質問 一刻も早い煙山ダムの土砂除去が必要ではないか。

町長 可能な限り、年度末までには完全復旧を図りたい。

が本町の取り組みと見解は。

町長 今回の災害に対して、ボランティアの力強い支援に感謝している。

ボランティア活動の強化は、町の各関係課の事業の中で各組織ごとに時代背景とニーズを反映し、養成と活動支援を行っている。

教育委員会を わかりやすく 今後はホームページに 活動内容を公表

質問 教育委員の活動や会議の内容を町民にもわかるようにできないか。

教育委員長 これまで委員の活動や会議内容等の広報活動は行っていないことから、今後はホームページ上での活動内容の公表等により、開かれた委員会づくりに取り組む。

ボランティアへの 支援は

町長 本町としては、国の動向と障がいのある方や障害福祉事業所等のニーズを踏まえ、障害福祉サービスの充実に努めていく。

質問 障がい者等への支援の充実に向けて、本町の一般的な取り組み方を問う。

時代背景とニーズを 反映し活動を支援

質問 今後ボランティア活動を強化・支援していくための、一層の取り組みが必要である

より開かれた 議会を目指して

- ⑥自治基本条例の制定
- ⑤通年議会
- ウ. 質問時間45分の確保
可(部数限定)
- イ. 質問要旨・会議資料を傍聴者に配布。議案書は貸与
- ④開かれた議会へ
ア. 議会ライブ中継…定点カメラ1台でインターネット中継実施。
- ③町の情報公開条例の制定
- ②出前トーク・懇談会
- ①移動常任委員会

議会の活性化を図り、開かれた議会・信頼される議会を目指し、この間、県内の先進地の議会を視察研修し研究を重ねてきましたが、7月3日、委員長と幹事7人で平成10年から議会改革にいち早く取り組んでいる北海道白老町議会を視察研修し、多くのことを学んできました。

議会改革特別委員会

北海道白老町議会を視察研修

- ⑦会派制
 - ⑧自由討議
 - ⑨政策研究会
- 議会改革の取り組みに向け、視察研修で大いに学んだ点を活かし、十分に議論を重ねながら、具体的に取り組んでいきたいと決意を新たにしているところです。

議会改革特別委員会
委員長 廣田光男



白老町議会での研修

- ③デザインレイアウトを工夫
- ②行政的な専門用語をできるだけ使わないようにし、常に読みやすく・分かりやすく、親しまれる広報を心がける。
- ①常に「難しいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを愉快地に、愉快なことを真面目に書き伝える」ということを心がける。

今後、活かしたい主な点

7月22日・23日の両日、山形県庄内町と宮城県利府町を訪れ、議会広報の視察研修を行いました。

庄内町議会は、平成24年度町村議会広報全国コンクールにおいて、最優秀賞を受賞、利府町議会は同コンクールにおいて優秀賞を受賞、両町とも全国コンクールにおいて受賞の常連で、常に全国トップレベルを維持している実力紙です。

議会だより特別委員会

庄内町議会・利府町議会を視察研修



得るものが多かった利府町での研修

- ④小学校5年生でも読めて理解できるような紙面づくりを常に心がける。
- ⑤住民参加を工夫し、特徴ある紙面づくりに取り組む。

今後これらのことを活かし、議会だよりの編集にあたっていくしたいと思います。

議会だより特別委員会
委員長 山崎 道夫

災害に強い矢巾を 優先順位と整備計画を見直す



ふじわら うめあき 藤原 梅昭 議員

質問 くるま堰と上堰の氾濫および越流対策は。

町長 くるま堰はJ.Rとの接続部の未施工部分について、本年度の冬期間に着工を予定。上堰はルートを一部変更し現在整備中で、26年度の完成予定である。

質問 南矢幅熊野神社横・矢巾中津線橋付近など、線路下の排水対策は。

町長 未整備箇所は順次整備し、水抜けの悪い点は解消する。今後優先順位の見直しを含めた整備計画の検討を行う。

質問 農作物の災害補償は。

町長 共済制度の活用を基本とし、対象外の園芸作物は他

の方策を検討中である。

質問 土砂流入による農地の災害補償対応は。

町長 災害認定としての該当有無の区分けをしながら復旧に努める。



堤防決壊により浸水した水田(新田1区)

**東日本大震災
その後の対応は
職員派遣など継続
しているか。**

質問 その後の被災地支援は

町長 釜石市・大船渡市・陸前高田市・大槌町・宮古市へ事務職員・保健師を派遣。大槌町からのガレキ処理は終了し、本年6月3日から陸前高田市の災害廃棄物を12月までに1500ト受け入れし、焼却処理を行っている。

質問 本町への避難者受け入れ状況は。

町長 8月25日現在で50世帯121名となっている。

避難者の方々へは、保健師等による健康状態の把握と健康支援を実施予定。

質問 放射能汚染による、農家および農畜産物に対する支援状況は。

町長 賠償請求等を継続的に実施しており、風評被害の影響が大きい原木シイタケは、JA中心に具体的対策を進めている。



西徳田ブルーウイングスのメンバー



西徳田ブルーウイングス (BW) 監督

山田 学 さん (西徳田1区)

僕たちの甲子園！ 町少年野球大会優勝！

金メダルを胸にした誇らしげな子どもたち。ホツとした気持ちになる瞬間です。当然そうでない子どもたちもいました。「メダルをみんなにプレゼントできなくてごめんね」と言うのと「監督のせいじゃないよ」と答えてくれる西徳田BWの子どもたち。

西徳田BWは小学1年から6年生までの18人みんなが同じ練習をします。当然できない子もいますが、上級生が身振り手振りで下級生に教えてくれます。根気よく教える上級生、泣きながら諦めず頑張る下級生。何事にも替えがたい時間です。どんなに時間を費やそうとも、じっと待ってあげること必要でしょう。「ナイスバッチン！ナイスピッチ！」はなかなかできませんが「ナイスチーム！」だと思います。私は子どもたちに「あの子

よりあの子が上手だ、ではなくてその子がどれだけ前より上手になったか認めてあげましょう」とよく言います。小学生で完成形にする必要性を私が求めてないからでしょう。でも、みんな立派になつて卒業していきますよ。

卒業生の中には、中学・高校で野球を続ける子もたくさんいます。県大会で活躍する子、なんと甲子園で活躍する子も……。勿論、それ以外で頑張っている子もたくさんいます。小学校、地域の方々や保護者の温かいご支援があつて活動できる少年野球が、その子たちが努力した礎に少しでも役に立っていてくれれば嬉しい限りです。そんな子どもたちが、それぞれの甲子園で、それぞれのメダルを手にすることができ、たくましい人になっていくことを願ってやみません。

あ と が き

自然災害は、世界各地・日本各地で地震・津波・大雨・竜巻等猛威を振るい、災害に強い本町も例外ではなかった。8月9日の想定外豪雨が大雨災害をもたらしましたが、被災された方々には、心からお見舞い申し上げ、一日も早い復旧を願っております。

議会でも、被害状況を確認しながら対応策を検討するため「災害対策調査特別委員会」を設置し復旧対応・今後の防災対応についての活動を行っているところですよ。

今回の豪雨災害を教訓に、災害は常に起こることを想定し、行政・議会・住民が一体となり災害に強い町を作り上げるべきと考えています。

編集委員

藤原 梅昭

発行・編集責任者

議長 藤原 義一

編集委員

委員長 山崎 道夫

副委員長 小川 文子

委員 齊藤 正範

委員 昆 秀一

藤原 梅昭

